

平成16年4月5日

各位

本社所在地 大阪市北区松ヶ枝町6番22号
会社名 日本基礎技術株式会社
代表者名 取締役社長 湯澤 栄次
(コード番号 1914)
問い合わせ先 専務取締役 磯 景安
TEL (06)6351-5621

業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成15年11月17日の中間決算発表時に公表の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正します。

記

・業績予想の修正について

- 1.平成16年3月期通期業績予想数値の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年11月17日発表)	28,000	1,100	550
今回修正予想(B)	24,400	530	420
増減額(B-A)	3,600	570	130
増減率	12.8%	51.8%	23.6%
(ご参考) 前期(平成15年3月期)実績	34,680	1,812	670

2.修正の理由

通期業績の見込みにつきましては、公共投資の減少等により、受注環境の悪化が下期も依然として回復せず、受注高が低調に推移したことから売上高は前回発表時の予想を下回る見込みとなり、経費節減等コスト削減に努めましたが、売上高の減少に伴う利益減の他、発注ゼネコンの倒産による貸倒損失の発生等もあり、経常利益は前回発表予想を下回る見込みであります。なお、特定破綻懸念先に対する引当区分の変更と、全体の工事量縮小に伴う当債権額が減少したことにより、特別利益として戻入益(約4億円)が発生したため、当期純利益は前回予想を下回ることとなりましたが、経常利益の減少幅は縮小しております。

・ 配当予想の修正について

1 . 配当予想修正の理由

当社は、会社運営に万全を期すために内部留保の充実を図り、財務体質の強化を第一と考えた上で、経営成績や配当性向にも留意し、株主の皆様にも長期安定的に利益還元を行うことを利益配分の基本方針としております。

当期につきましては、公共事業の削減等の影響により減収減益の厳しい経営環境ではありますが、今後の新規事業等による利益拡大を図るうえで必要な内部留保を総合的に勘案し、また、資本効率向上についても考慮した結果、株主の皆様にも積極的に利益還元させていただくことを決定いたしました。

この結果、期末配当金を下記のとおり増配させていただく予定であります。

2 . 修正内容

	中間(実績)	期 末	年 間
前回発表予想 (平成 15 年 11 月 17 日)		5 ~ 6 円	5 ~ 6 円
今回修正予想		25 円	25 円
(ご参考) 前期の 1 株当りの配当実績	3 円	5 円	8 円

以上